

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：高橋央）（2組：今井輝人）（3組：下山真由子）（4組：加藤文雄）（5組：今井輝人）（6組：下山真由子）（7組：加藤文雄）

使用教科書：（ Crown English CommunicationⅠ ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 4技能5領域において、下部「英語コミュニケーションⅠの目標」に挙げている知識及び技能を習得すること。

【思考力、判断力、表現力等】 4技能5領域において、下部「英語コミュニケーションⅠの目標」に挙げている思考力、判断力、表現力等を習得すること

【学びに向かう力、人間性等】 4技能5領域において、下部「英語コミュニケーションⅠの目標」に挙げている学びに向かう力、人間性等を習得すること

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞くこと 【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】	聞くこと コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	聞くこと 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自立的に英語で話されることを聞こうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	書					
1 学 期	A Lesson 1 The Blue White Shirt 【知識・技能】 身近にある和製英語の例や和製英語の長所または短所について、考える時間がかせぐ表現や例をあげる表現などを用いて、円滑に意見を交換している。また、グループで話し合った内容や本文で学んだ知識や表現などを基に、情報や考えを書いて伝える技能を身に付けている。 定期考査	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。			○	○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	12
	定期考査		○	○			cの評価項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○			1
	B 単元Lesson 2 Does It Spark Joy? 【知識・技能】 自分自身がときめくものについて、理由などを説明する表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。また、自身の経験などを基に、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。 定期考査	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。			○	○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○			cの評価項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○			1
	C 単元 Lesson 3 Hatching the Egg of Hope 【知識・技能】 アートの楽しみ方について、自分の意見を述べる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。また、グループで話し合った内容を基に、自分の考えや経験を書いて伝える技能を身に付けている。 定期考査	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。			○	○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○			cの評価項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○			1
2 学 期	Lesson 5 Roots & Shoots 【知識・技能】 参加してみたいルーツアンドシューツの活動や自分自身ができることについて、考えを書いて伝える技能を身に付けている。また、書いたことを基に、情報や自分の考えを発表する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 Lesson 6 You and Your Smartphone—Who's in Charge? 【知識・技能】 幼少期からこれまでにスマートフォンやゲームなどから受けた影響について、自分の経験を述べる表現や例をあげる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。また、グループで 定期考査	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。			○	○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○			cの評価項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○			1
	Lesson 7 Living in Alaska 【知識・技能】 身の回りの環境問題や関心のある環境問題について、自分の意見を述べる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。また、グループで話し合った内容を基に、自分の考えや経験、情報を書いて伝える技能を身に付けている。 Lesson 8 Not So Long Ago 【知識・技能】 戦争のない世界の実現について、自分の意見を述べる表現や賛成・反対を表明する表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。また、グループで話し合った内容を基に、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。 定期考査	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。			○	○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○			cの評価項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○			1
	Lesson 9 Our Lost Friend 【知識・技能】 イースター島民による大英博物館へのモアイ像の返還要求について、自分の立場を明確にしながら、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。また、自分の意見を述べる表現や賛成・反対を表明する表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 定期考査	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。			○	○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	10
	定期考査		○	○			cの評価項目において、単元の指導目標に書かれている内容について、各アクティビティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○			1
《評価方法と割合》 1. 評価対象；a. 授業におけるアクティビティ（パフォーマンステスト、ペアワーク等）の評価（②思考力・判断力・表現力、③学びに向かう力・人間性等）/ b. 成果物（要約、意見論述のワークシート等）の評価（②思考力・判断力・表現力） / c. 定期考査（①知識及び技能） 2. 評価方式：①知識及び技能35％、②思考力・判断力・表現力35％、③学びに向かう力・人間性等30％											合 計 75

令和5年度 授業実施計画書

学 年	1 年
教 科 名	英 語
科 目 名	英語探究
単 位 数	1
必修選択区分	学校必修（学校設定科目）
使用教科書	なし
使用副教材	即興スピーキング!（本田敏幸著）

組	科目担当者
1	高橋 央
2	今井 暉人
3	下山 真由子
4	加藤 文雄
5	今井 暉人
6	下山 真由子
7	加藤 文雄
8	高橋 央

学習の目標	1 学期	自らのことについて英語で書き、発表できる。
	2 学期	現代社会の諸課題について、英語でプレゼンすることができる。また、日本文化を外国人に紹介することができる。
	3 学期	英語で発展的な内容を討論することができる。
担当者からのコメント		

成績評価	観点	プレゼンテーションでは、内容・指示に正しく従っているか、また英語の流暢さやアイコンタクトはできているか等のスキルについて評価する。英作文は、文法や内容についても評価する。
	方法	提出物、プレゼンテーション等のパフォーマンスや成果物等による。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	6	発表用のワークシートを使って、英語で自分自身について書き、発表する。	
		期末	6	英語でクラスメイトや他者について書き、発表して紹介する。	
	2 学期	中間	7	英語で社会的な問題について意見を書き、発表する。	
		期末	7	英語で日本の文化について紹介文を書き、発表する。	
	3 学期	学年末	9	英語で発展的な討論をする。	

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科		外国語	科目	論理・表現Ⅰ
教科：	外国語	科目：	論理・表現Ⅰ	
対象学年組：第	1 学年	1 組～	8 組	
教科担当者：	（1組：佐藤・成沢）	（2組：成沢・下山）	（3組：高橋央・吉川）	（4組：今井・佐藤） （5組：大澤・鹿又） （6組：吉川・高橋文）
使用教科書：	（ Vision Quest English Logic and ExpressionⅠ ）			
教科	外国語	の目標：		

【思考力、判断力、表現力等】 目的・場面・状況に応じて的確に相手の意図を理解し、自分の考えを適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションをはかろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
支援なしで、英文を正しく作ることができる。必要な英語のきまりや特徴を使いこなし、情報や自分の考えを論理的に表現できる。	支援なしで、設問や課題に対する自分の考えを、適切な英語を使いこなし、要点や意図を明確にしながら論理的に表現することができる。	支援なしで、与えられた課題に取り組み、積極的に課題解決を達成し、自主的に別の課題にも取り組み姿勢がある。

[illegible]

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組
教科担当者： （1組、2組：加藤） （3組、4組：岡田） （5組、6組：坂本） （7組、8組：高橋）
使用教科書： （ ELEMENT English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：
【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、適切に活用できる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】 場面、状況に応じて情報や考えを的確に把握し、自らの考え等を適切に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いる態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
4技能5領域の言語活動を行うための、文法や語彙等の知識の理解を深め、それらを場面・状況に応じて使う技能を養う。	教科書の文章や、話し手の内容を正確に把握し、それについて自分の意見を持ち、わかりやすく表現する力を身に付ける。	ペアワークなど、英語を用いたコミュニケーションを積極的に行う姿勢を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ 「 や 」 ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	The culture map 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○	○		a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	5
	Stay Hungry, Stay Foolish 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○	○		a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		○	cの評価項目において、単元の指導目標に書かれ	○	○		1
	How Did Pink Become a "Girl's Color" in America 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○	○		a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	8
	Life in a Jar 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○		○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。	○	○	○	7
	定期考査		○	○		○	cの評価項目において、単元の指導目標に書かれ	○	○		1
2 学 期	Predictably Irrational 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○	○		a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	定期考査		○	○		○	cの評価項目において、単元の指導目標に書かれ	○	○		1
	A long Way Home 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○		○	a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
3 学 期	定期考査		○	○		○	cの評価項目において、単元の指導目標に書かれ	○	○		1
	Putting iPS Cells into Practice 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○	○		a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	How We got to Now with Glass 【知識及び技能】 4技能5領域の言語活動を行うための、 文法や語彙等の知識の理解を深め、それ らを場面・状況に応じて使う技能を養 う。 【思考力、判断力、表現力等】 教科書の文章や、話し手の内容を正確 に把握し、それについて自分の意見を持 つ。	・指導事項 ①新出語彙の発音指導 語彙リストを使用 ②本文・問題の解説 ③音読 音読は音読シートを用いて行う（虫食 い、サイトラ）。時間に余裕があれば Repeating, Read&Look-up, Overlapping, Shadowing等を行う。	○	○	○		a, bの評価対象項目において、単元の指導目標 に書かれている内容について、各アクティビ ティ・成果物毎の評価規準を定めて評価する。				8
	定期考査		○	○		○	cの評価項目において、単元の指導目標に書かれ	○	○		1

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	組	科目担当者
教 科 名	英 語	1	佐藤 宏樹
科 目 名	コミュニケーション英語Ⅲ	2	臼田 佐保子
単 位 数	2	3	臼田 佐保子
必修選択区分	必修	4	新谷 幸子
使用教科書	LANDMARK English Communication Ⅲ (啓林館)	5	鹿又 規秀
使用副教材	SKYWARD SKY course 2nd Edition (桐原書店)	6	鹿又 規秀
		7	新谷 幸子
		8	佐藤 宏樹

学習の目標	1 学期	複雑な文章の構造を正確に捉え文意を読み解く力と、ディスコースマーカーの働きを理解し文章の論理展開を理解する力を養成する。その他、長文読解通して語彙や表現の習得を目指す。
	2 学期	1学期と同様に文章を丁寧に読む練習を続け、理解に応じて要約練習なども取り入れる。様々なジャンルの文章を読むことで、各分野についての基本的な知識に触れる機会とする。
	3 学期	個別指導と添削指導を充実させ、それぞれの生徒の実態に応じた指導を行う。
担当者からのコメント		共通テストを意識し速読を意識している人もいますが、精読ができない人に速読はできません。英文の精読、論理展開を把握する練習、サイトラを使った復習が結果的には速読にもつながります。焦らずにやるべきことにしっかり取り組んでください。

成績評価	観点	① 読んだ英文について語彙（語句・表現の意味、日→英の復元など）が十分に身についているか。 ② 読んだ英文について構造把握（文法や構文に基づく語順、正確な和訳）が十分にできているか。 ③ 読んだ英文の内容について別の英文で表現されているものを理解したり（内容一致など）、自分の言葉（英語もしくは日本語）で表現できるか。
	方法	定期考査を中心に、授業及び授業内の活動への取り組み、添削課題等の提出状況などを総合的に判断して評価を行う。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	18	LANDMARK 1～2 SKYWARD 1～4	試験範囲は別途指示する
		期末	18	LANDMARK 3～4 SKYWARD 5～8	
	2 学期	中間	21	LANDMARK 5～6 SKYWARD 9～12	試験範囲は別途指示する 適宜、共通テスト演習を行う。
		期末	21	LANDMARK 7～8 SKYWARD 13～16	
	3 学期	学年末	27	個別指導	個別に添削、解説を行う。

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	講座	科目担当者
教 科 名	英 語	①	加藤文雄
科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ（英語演習①②）		
単 位 数	2		
必修選択区分	自由選択		
使用教科書	PROMINENCE English CommunicationⅡ（東京書籍）	②	高橋文子
使用副教材	Cutting Edge orange		

学習の目標	1 学期	予習・復習を前提とした授業を通して、英語長文読解問題に対応する以下の力を要請していく。 1) 様々な分野に関する語彙力 2) 文法力を基に文構造の把握 3) 代名詞・指示語、語句の言い換えなどによる照応関係の把握 4) ディスコースマーカールを中心 文と文、段落間のつながりを理解する力 5) 1)～4)を基に筆者の意見・主張を正確に捉える力。
	2 学期	引き続き上記の力を要請するために、テキスト以外にも大学入試過去問題演習を行い、さらに高度な読解力を身につける。
	3 学期	個別指導と添削指導を充実させ、それぞれの生徒の実態に応じた指導を行う。
担当者からのコメント	授業開きで配布したプリントをよく読み、適切な予習・復習を行うこと。特にサイトラシートを用いた復習を随時行い、定期テストのための試験勉強も十二分に行うこと。	

成績評価	観点	① 読んだ英文について語彙（語句・表現の意味、日→英の復元など）が十分に身についているか。 ② 読んだ英文について構造把握（文法や構文に基づく語順、正確な和訳）が十分にできているか。 ③ 読んだ英文の内容について別の英文で表現されているものを理解したり（内容一致など）、自分の言葉（英語もしくは日本語）で表現できるか。
	方法	定期考査を中心に、授業及び授業内の活動への取り組み、などを総合的に判断して評価を行う。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	12	Cutting Edge orange 1～4	週1回 1チャプターのペースで進むので特に復習を丁寧に行うこと。
		期末	12	Cutting Edge orange 4～8	
	2 学期	中間	14	Cutting Edge orange 9～13	週1回 1チャプターのペースで進むので特に復習を丁寧に行うこと。
		期末	14	Cutting Edge orange 14～16 その他、入試問題演習	
	3 学期	学年末	18	個別指導	個別に添削、解説を行う。

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	講座	科目担当者
教 科 名	英 語	③	鹿又規秀
科 目 名	コミュニケーション英語Ⅱ（英語演習③④）		
単 位 数	2		
必修選択区分	自由選択		
使用教科書	CROWN English CommunicationⅡ（三省堂）	④	吉川年香
使用副教材	Cutting Edge Blue（エミル出版）		

学習の目標	1 学期	大学入試の長文読解問題を解いていくための確かな読解力を養う。具体的には、文章の構造を正確に捉え、構文・文法を基に正確に文章を読み解く力、ディスコースマーカーや論理展開に注目して、文章全体の構成を理解する力を養成する。
	2 学期	1学期と同様に文章を丁寧に読む練習を続け、理解に応じて要約練習なども取り入れる。
	3 学期	個別指導と添削指導を充実させ、それぞれの生徒の実態に応じた指導を行う。
担当者からのコメント		授業には十分な予習をした上で参加してください。授業後は、解答やサイトラを見ながらしっかり復習し、1つの長文から学べることは全て学んでいくよう心掛けてください。

成績評価	観点	① 読んだ英文について語彙（語句・表現の意味、日→英の復元など）が十分に身についているか。 ② 読んだ英文について構造把握（文法や構文に基づく語順、正確な和訳）が十分にできているか。 ③ 読んだ英文の内容について別の英文で表現されているものを理解したり（内容一致など）、自分の言葉（英語もしくは日本語）で表現できるか。
	方法	定期考査を中心に、授業及び授業内の活動への取り組み、添削課題等の提出状況などを総合的に判断して評価を行う。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	12	Cutting Edge blue 1～3	週1回 1チャプターのペースで進むので特に復習を丁寧に行うこと。
		期末	12	Cutting Edge blue 4～7	
	2 学期	中間	14	Cutting Edge blue 11～14	週1回 1チャプターのペースで進むので特に復習を丁寧に行うこと。
		期末	14	Cutting Edge blue 15～17	
	3 学期	学年末	18	個別指導	個別に添削、解説を行う。

令和5年度 授業実施計画書

学 年	3 年	組	科目担当者
教 科 名	英 語		
科 目 名	英語探究演習①/②		
単 位 数	2		
必修選択区分	自由選択		
使用教科書	CROWN English Communication II (三省堂)	①～②	①佐藤 宏樹 ②新谷 幸子
使用副教材	CBS NewsBreak 3 (成美堂)		

学習の目標	1 学期	アメリカの報道番組“CBS Evening News”と情報番組“CBS This Morning”で放送されたニュース動画を集めたテキストを用いて動画を視聴し、国内外の文化知識を深めながら、リスニング・スピーキング・ライティング活動を中心とした英語力の育成を図る。
	2 学期	1 学期と同様の教材でニュース動画を視聴しながら、時事問題や語いなどを探究し、リスニング・スピーキング・ライティング活動を中心とした英語力の育成を図る。1 1 月以降は東京外国語大学の入試問題対策も行い、総合的な英語力の補完を目指す。
	3 学期	個別指導と添削指導を充実させ、それぞれの生徒の実態に応じた指導を行う。
担当者からのコメント	英語を英語のままインプットし、リスニング力の強化を図るとともに、ニュースを理解するだけにとどまらず、様々な話題について考え、それを英語で発表できる力を身につけていきましょう。	

成績評価	観点	・授業時の諸活動や毎時間の作文課題に積極的に取り組んでいるか ・各学期のテスト（外国人講師とのスピーキングテスト、リスニングテスト（ディクテーション）、ライティングテスト（英作文））に確実に取り組んでいるか
	方法	・スピーキング、リスニング、ライティング等の発表活動を実施し、態度・内容・熱意・積極性の観点から評価する。 ・各学期でテスト（スピーキング、リスニング、ライティング）を実施し、その到達度（内容・構成・語い等）を見る。 ・テスト結果を中心に、授業活動への取り組み、提出課題等の提出状況などを総合的に判断して評価を行う。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	8	Unit 1～4	授業内でテストを実施する
		期末	8	Unit 5～7	
	2 学期	中間	12	Unit 8～13	授業内でテストを実施する
		期末	10	Unit 14～15 BCT-S（東京外国語大学入試問題）対策 他	
	3 学期	学年末	2	BCT-S（東京外国語大学入試問題）対策、個別指導 他	個別に添削指導を行う

東京都立八王子東高等学校